



Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0

管理コンソールのスタートガイド

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform の管理コンソールの使用に関するガイド

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0 管理コンソールのスタートガイド

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform の管理コンソールの使用に関するガイド

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform の管理コンソールの使用に関するガイド

目次

JBOSS EAP ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)	3
多様性を受け入れるオープンソースの強化	4
第1章 管理コンソールの概要	5
1.1. 管理コンソールでのリソース属性の更新	5
1.2. 管理コンソールの有効化または無効化	6
1.3. 管理コンソールの言語の変更	6
1.4. 管理コンソールのタイトルのカスタマイズ	7

JBOSS EAP ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

手順

1. [このリンクをクリック](#) してチケットを作成します。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。多様性を受け入れる用語に変更する取り組みの詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

第1章 管理コンソールの概要

管理コンソールは、JBoss EAP の Web ベースの管理ツールです。

管理コンソールを使用して、サーバーの開始および停止、アプリケーションのデプロイおよび削除、システム設定の調整、サーバー設定の変更の永続化を行います。管理コンソールは、サーバーの再起動またはリロードが必要な変更をユーザーが行ったときに、ライブ通知を使用して管理タスクを実行することもできます。

管理対象ドメインでは、同じドメインのサーバーインスタンスとサーバーグループをドメインコントローラーの管理コンソールから集中管理できます。

デフォルトの管理ポートを使用してローカルホストで稼働している JBoss EAP インスタンスの場合、Web ブラウザーを使用して <http://localhost:9990/console/index.html> で管理コンソールにアクセスできます。管理コンソールにアクセスするには、必要なロールを持つユーザーとしてログインします。

管理コンソールでは、JBoss EAP スタンドアロンサーバーまたはマネージドドメインを操作および管理するために以下のタブが提供されます。

Home (ホーム)

一般的な設定および管理タスクを行う方法を学ぶことができます。ツアーに参加して JBoss EAP 管理コンソールについてよく理解してください。

Deployments (デプロイメント)

デプロイメントを追加、削除、および有効化します。マネージドドメインでは、デプロイメントをサーバーグループに割り当てます。

Configuration (設定)

Web サービス、メッセージング、高可用性などの機能を提供する利用可能なサブシステムを設定します。マネージドドメインでは、異なるサブシステム設定が含まれるプロファイルを管理します。

Runtime (ランタイム)

サーバーの状態、JVM 使用率、サーバーログなどのランタイム情報を表示します。マネージドドメインではホスト、サーバーグループ、およびサーバーを管理します。

Update Manager

既存のインストールを更新し、チャンネルを管理します。

アクセス制御

ロールベースのアクセス制御を使用するときのユーザーとグループにロールを割り当てます。

1.1. 管理コンソールでのリソース属性の更新

必要な権限を持っている場合、管理コンソールでリソース属性を編集できます。

前提条件

- JBoss EAP が実行されている。
- 選択したリソースを変更するための適切な権限を持っている。
- ユーザーを作成している。

手順

1. 管理コンソールにログインします。デフォルトのポートで実行されているローカルサーバーの場合は、<http://localhost:9990/console/index.html> で管理コンソールにアクセスできます。
2. 管理コンソールの適切なセクションに移動し、変更するリソースを探します。
3. **Edit** をクリックします。
4. 必要な変更を行います。
必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。**Help** をクリックすると、属性の説明を表示できます。



注記

入力フィールドは、属性のタイプに応じて、テキストフィールド、ON/OFF フィールド、またはドロップダウンになります。一部のテキストフィールドでは、入力すると、設定内の他の場所の値が候補として表示されます。

5. **Save** をクリックします。
6. 必要な場合は、サーバーをリロードして変更を反映します。
有効にするためにリロードが必要な変更を加えると、ポップアップウィンドウが開きます。スタンドアロンサーバーをリロードするには、ポップアップウィンドウで **Reload** をクリックします。マネージドドメイン内のサーバーをリロードするには、**Topology** をクリックし、適切なサーバーを選択して、ドロップダウンリストから **Reload** を選択します。

最近実行した設定アクションの履歴を表示するには、通知アイコンをクリックします。

1.2. 管理コンソールの有効化または無効化

`/core-service=management/management-interface=http-interface` リソースの `console-enabled` ブール値属性を設定すると、管理コンソールを有効または無効にできます。ドメインモードマスターホストの場合は、`/host=master/core-service=management/management-interface=http-interface` を使用します。



注記

管理コンソールを有効または無効にした後、JBoss EAP インスタンスを再起動またはリロードする必要があります。

管理コンソールを有効にする場合の例

```
/core-service=management/management-interface=http-interface:write-attribute(name=console-enabled,value=true)
```

管理コンソールを無効にする場合の例

```
/core-service=management/management-interface=http-interface:write-attribute(name=console-enabled,value=false)
```

1.3. 管理コンソールの言語の変更

管理リソースの言語はデフォルトの英語に設定されています。以下の言語の1つを選択することもできます。

- ドイツ語 (de)
- 簡体中国語 (zh-Hans)
- ブラジルポルトガル語 (pt-BR)
- フランス語 (fr)
- スペイン語 (es)
- 日本語 (ja)

前提条件

- JBoss EAP が実行されている。
- ユーザーを作成している。

手順

1. 管理コンソールにログインします。デフォルトのポートで実行されているローカルサーバーの場合は、<http://localhost:9990/console/index.html> で管理コンソールにアクセスできます。
2. **Settings** をクリックします。
3. **Locale** リストから必要な言語を選択します。
4. **Save** をクリックします。確認ボックスに、アプリケーションのリロードが必要であると表示されます。
5. **Yes** をクリックします。システムによってブラウザが自動的に更新され、選択したロケールが使用されます。

1.4. 管理コンソールのタイトルのカスタマイズ

各 JBoss EAP インスタンスを迅速かつ簡単に識別できるように、管理コンソールのタイトルをカスタマイズできます。

前提条件

- JBoss EAP が実行されている。
- ユーザーを作成している。

手順

1. 管理コンソールにログインします。デフォルトのポートで実行されているローカルサーバーの場合は、<http://localhost:9990/console/index.html> で管理コンソールにアクセスできます。
2. **Settings** をクリックし、**Title** フィールドでタイトルを変更します。
3. **Save** をクリックします。確認ボックスに、管理コンソールのリロードが必要であることが表示されます。

4. **Yes** をクリックします。
システムは Web ブラウザーを自動的に更新し、新しいタイトルがタブヘッダーに表示されます。